



Kameda

2019.3 No. 248

時代の流れの中で

亀田クリニック院長 亀田省吾

2019年5月には新天皇が即位され、新たな元号になります。

わが国は、徳川幕府が政権を握っていた江戸時代から、大政奉還により明治時代に移行し、文明開化の旗印の下、近代日本の歴史が始まりました。明治、大正、昭和の前半までは、富国強兵政策で、戦争と工業技術の進歩により、欧米の国々に追いつくことを目指しました。しかし、先の第2次世界大戦で焼け野原になった日本は、戦争放棄を宣言し、高度経済成長時代と言われる急激な経済発展を果たし、GDP世界第2位の経済強国に発展しました。株価は高騰し、バブル時代の絶頂期には、東京23区を売ればアメリカ全土が買えるなどと言った、あり得ない話がまことしやかに語られていました。この右肩上がりの成長の終焉であるバブルの崩壊が、いみじくも昭和から平成への移行期と重なっています。平成を振り返ると、バブルの崩壊から始まり、デフレ経済が長く続き、GDPは中国に抜かれ、国際的にも日本の大企業の企業価値が急落しました。

と同時に、長寿化により表面化してこなかった人口問題も、長きにわたる出生率の低迷からいよいよ本格的な人口減少時代に突入しました。

一方、昭和の後半から始まったIT革命の進歩はすさまじく、インターネットとスマートフォンなどのツールにより、世界中の情報を一瞬で手に入れられる時代となりました。その反面、プライバシーや倫理問題、サイバーテロなど、それらの副作用が大きな社会問題となっています。

新しい時代を迎え、これらの技術の進歩やグローバル化の流れなど、社会は益々早く変化して行くでしょう。医療においても、AI診断や、遠隔医療、ロボット治療などが急激に進むと思われれます。そのような時代の中で、私たち医療者は、自分たちの役割や価値観を原点に戻って見つめ直すべき時がめぐってきたと考えるべきです。

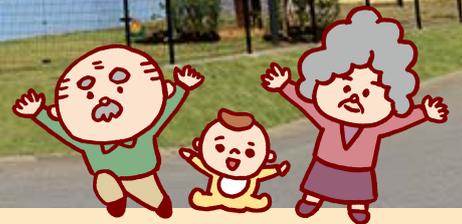
各国の信用を基本とした貨幣経済の時代も終わろうとしている現在、国を超えた新しい経済の仕組みが始まっています。しかし、どんなに時代が変わろうと、亀田メディカルセンターにとって「我々は、全ての人々の幸福に貢献するために愛の心をもって常に最高水準の医療を提供し続ける」という使命は重要であり、職員がその目標や価値観を共有することが、組織にとっても、職員一人一人の幸せにとっても最も重要だと思えます。

戦後、父である俊孝と共に、亀田メディカルセンターの基礎を築いてきた母の言葉の中で、幼い頃から私の信条を形成してきた言葉があります。一つは「喜ばれる喜び、感謝される感謝」。二つ目は「無形の財産が有形の財産を生む」という言葉です。この二つの言葉は、国を超え、人種を超え、宗教を超え、時代をも超えて、全ての人が共有している真理であり、個人の幸せと時代の変化に左右されない明るい社会の実現にとっての非常に重要な考え方だと思えます。

職場最前線

72

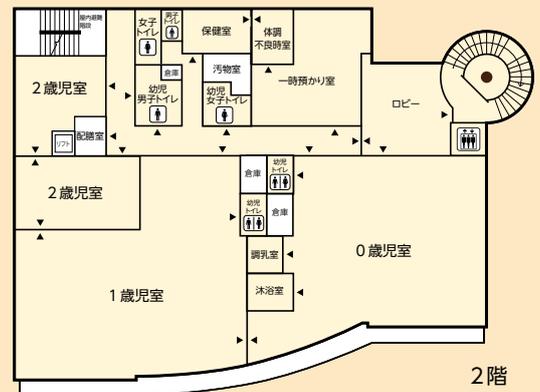
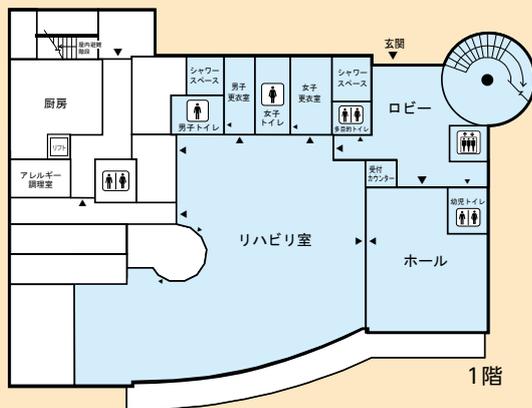
《複合施設 Sun OURS》



鴨川市を「日本一子育てしやすい町」とするため、2016年に亀田グループと鴨川市が連携して開設にこぎつけた幼保連携型認定こども園『OURS(あわーず)』。今春3年目にしてついに利用希望者が想定を超えることが予測されたため、急きょ社会福祉法人太陽会(亀田信介理事長、以下太陽会)と医療法人鉄蕉会(亀田隆明理事長、以下鉄蕉会)で企業主導型保育所『OURS

baby(あわーず ベビー)』を立ち上げました。その『OURS baby』が入る建物が、今回紹介する「Sun OURS(サン あわーず)」。2018年12月1日に関係者を招き竣工式と内覧会を執り行ったばかりです。

最近駐車場の西側にちょっと変わった建物ができたなあと、気になっていた方も多はずです。建物内がどんな風になっているのか、早速ご紹介しましょう。



「Sun OURS」の ひ・み・つ

建物の入り口をしばらく観察していると、何やら老若男女さまざまな人々が入り出していることに気がつきます。そうです。ここは通所リハビリテーション事業と企業主導型保育事業がテナントとして入っている複合施設なのです。

<建物概要>

住所：〒296-0041

鴨川市東町601番地1

鉄筋コンクリート造、3階建て。建築面積701.97㎡、延べ床面積1,696.31㎡

1階：短時間通所リハビリテーション『Sun Daycare(サン デイケア)』

2階：企業主導型保育所『OURS baby(あわーず ベビー)』

3階：社会福祉法人太陽会事務所

1階は、太陽会の介護老人保健施設「たいよう(神定浩明施設長)」が1995年から行っている通所リハビリテーション事業のうち、近年利用者が増加している短時間の通所リハビリテーションに特化したスペースとして増築。亀田グループならではの専門性の高いサービスを提供する短時間通所リハビリテーション『Sun Daycare』があります。

2階は、太陽会と鉄蕉会が共同設置・共同利用する企業主導型保育事業『OURS baby(あわーず ベビー)』が新設されました。太陽会が手掛ける子育て支援事業としては、2016年4月に開園した幼保連携型認定こども園「OURS(あわーず)」(米倉和昭園長、鴨川市広場、定員391名)があ

りますが、利用希望者が想定を越え、これまで保育教諭を増員するなど対応してきましたが、開園からわずか2年で特に0歳から2歳児クラスは利用枠がいっぱいとなってしまいました。このままでは子育て世代が仕事を続けながら、安心して子育てできる環境が確保できなくなるため、急ぎ企業主導型保育事業を立ち上げ、亀田グループで働くスタッフのお子さんを対象に、0歳から2歳児の受け入れを行うことになりました。

主に乳児を対象にした365日稼働の一時預かり事業(定員8名)も、2019年の1月からスタートしています。

3階は、鴨川市内ばかりか館山市など南房総広域に事業所が点在する太陽会の、医療・福祉・子育て部門の本部機能が集約されました。

では各フロアをのぞいてみましょう。

1F 短時間通所リハビリテーション『Sun Daycare』

1階には、比較的軽度の介護認定者向けに開設された短時間通所リハビリテーション『Sun Daycare(サン デイケア)』があります。ここではご利用者の自立支援をテーマに、短時間に特化した専門的な通所リハビリテーションサービスを提供しています。



コンセプトは “Dream and Do”

亀田グループの提案する自立支援は、単にADL(Activities of Daily Living)の自立を支援することではなく、「自分らしく生きることを支えること」としています。

『Sun Daycare(サン デイケア)』の責任者である大嶋幸一郎理学療法士は、「“Dream and Do”(夢見ることはできること)をリハビリコンセプトに掲げ、ご利用者さまの意欲と夢(目標)を引き出し、そのニーズをチームで共有し、エビデンス(科学的根拠)に基づいたアプローチで、自分らしく生きることを提案しています」とのこと。



ご本人が望むことであれば、スタッフが一緒に考え、どんな小さなことでも、その目標に向けたサポートを行えるようかなり本格的なリハビリテーション専門施設となっています。

医療保険から介護 保険への円滑な 移行のため

短時間通所リハビリテーションとは、症状が安定した介護保険をお持ちの方に病院や介護老人保健施設などで必要なリハビリを提供するサービスです。

介護老人保健施設「たいよう」の通所リハビリテーション「デイケア」は、要支援1～2、もしくは要介護1～5と

認定され、在宅生活をされているリハビリの必要なご利用者に積極的なアプローチを行っています。健康チェックをはじめ、食事や入浴、専用車での送迎(主な地域は鴨川市内)を行っています。

大嶋さんによると、「デイケアのご利用者の中には、利用時間が長いので、もっと短い時間でトレーニングを受けたいという方もいらっしゃいます。そういう点でサンデイケアは自主性の高いご利用者が多いように思います」とのこと。医療保険によるリハビリが終わり、自宅に帰っていたけれども、もっと良くなりたいという気持ちが高く、介護保険のケアマネジャーさんからの紹介で通ってくる方が多いこともうなずけます。

<サン デイケアの特徴>

- ・滞在時間は90分と150分の2コースがあります。
- ・理学療法士、作業療法士による個別リハビリや、ご利用者が考える目標・目的に合わせた自主トレーニングメニューを提案します。
- ・病院やアスレチックジムと同等のリハビリ施設とシステムをご利用になれます。
- ・短時間から長時間への移行も可能です。

<こんな方にオススメ>

- ・入浴、食事、レクリエーションなどのサービスはいらないので、リハビリに集中したい。
- ・通常のデイケアでは滞在時間が長くて疲れてしまう。
- ・病院の外来リハビリの期限が終了してしまっただけで、もっとリハビリを継続したい。

<ご利用いただける方>

- ・介護保険での利用となります。

- ・65歳以上の方で、介護保険の要介護・要支援の認定を受けた方
- ・40歳以上の方で、介護保険法で定める特定疾病と診断され、要介護・要支援の認定を受けた方
- ・退院し自宅へ戻ったが、「リハビリが必要だな」と感じている方

利用時間・料金 (2019年3月現在)

◆ Sunrise (サンライズコース) 9:00~10:30 (90分)

要支援1: 1,712円 / 月

要支援2: 3,615円 / 月

要介護区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用料金/回	323円	354円	382円	411円	441円

◆ Sunshine (サンシャインコース) 10:45~12:15 (90分)

要支援1: 1,712円 / 月

要支援2: 3,615円 / 月

要介護区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用料金/回	323円	354円	382円	411円	441円

◆ Sunset (サンセットコース) 13:30~16:00 (150分)

要支援1: 1,712円 / 月

要支援2: 3,615円 / 月

要介護区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
利用料金/回	337円	392円	448円	502円	558円

注1) 2018年度介護報酬(自己負担1割)の基本料金となります。

注2) リハビリ加算料金は、ご利用者さまの状態に応じて加算されます。

※実質 200円 / 回を飲料費として算定しています。

注3) 送迎料金が含まれます。

<送迎エリア>

※当施設より送迎車両で往復1時間程度の範囲を送迎対象としています。

東方面: 天津小湊・誕生寺

西方面: 太海・天面

北方面: 長狭学園・曾呂公民館



<よくある質問>

①週何回利用できますか?

要支援1の方で週1回。要支援2もしくは要介護の方で週2回を目安にしています。

②他のデイケア(通所リハ)に通っていても利用できますか?

基本的にご利用いただけません。ケアマネジャーにご相談ください。

③他のデイサービス(通所介護)と一緒に利用できますか?

併用は可能です。リハビリだけをもう少し実施したいという方が適応になりますので、ケアマネジャーにご相談ください。

④自分で車を運転していても良いですか?

ご利用者自身での車両運転による来所も可能です。お気軽にご相談ください。

⑤鴨川市外からでも利用できますか?

利用可能です。ただし、送迎範囲外となりますので、ご家族もしくはご利用者自身での来所となります。

<ご利用方法> 04-7093-7711

受付時間 8:30~17:30(日曜・祝日、年末年始除く)

まずお電話でお気軽にご相談ください。ご本人やご家族の希望などをうかがい、サービス利用の手続きのご案内をいたします。



ご利用の流れ

ある日のサンセットコースにお邪魔してみました。

まずホールで血圧測定や気になっていること、今日の目標などをセラピストが個別に聞き取り、確認作業を行います。その際必要なのは、「連絡帳」と「識別キー」。特にご利用者専用の識別キーには、あらかじめヒアリングして分類した個別データやリハビリプログラムを読み込ませてあります。リハビリ室へ入ると、まずこの識別キーを用いて本日の予定などを確認しま



す。早速運動靴に履き替え、識別キーで入室します。



クラスは症状や目的別に「Bird (バード)」「Rabbit (ラビット)」「Bear (ベア)」と3クラスあります。この日の利用者は5名。それぞれバイクなどの有酸素トレーニングや、マシントレーニング、作業療法などに分かれてスタートします。

それぞれのマシンに先ほどの識別キーを差し込むと、「バイク20分」などとメニューが表示されます。機器の前面にある画面ではテレビ視聴のほか、インターネットでユーチューブやラジオなど、さまざまなコンテンツが

選べるようになっていきますから、ある人は落語を聞きながら、あるいは好きな歌手の動画を見ながら、マイペースで運動を始めます。合間に水分補給やトイレなどの休憩を入れながら、トレーニングメニューをこなしていきます。



トレーニングが終わると、クールダウンもかねて高齢者の虚弱(フレイル)対策ゼリードリンク(クラッシュタイプ)を飲みながら、セラピストとともに振り返りを行います。一連のコースを終了すると、家族の迎えや送迎サービスを利用して帰宅します。

大嶋さんによると、「サンセットコースは他の2コースよりも1時間長いので、いずれはバーチャルゲーム的な要素や、花壇の手入れ、パンや料理教室など生活に関係する要素を取り入れていきたいと思っています」とのこと。

介護老人保健施設「たいよう」の通所リハビリは、食事や入浴なども含めてほぼ1日コースのため、合間にみんなで一緒に行うレクリエーション、入浴や食事がありますが、この短時間通所リハビリテーションは目的(目標)が明確なため、個々のペースで黙々と

トレーニングに励んでいるという印象があります。

マシンやシステムの選定からフロアのレイアウトまで任された大嶋さんは、「マシンに関しては6回視察して『テクノジム』に決めました。アスレチックジムなどに採用されているもので、識別キーからクラウドにデータが構築されるため、どこでも自分専用のメニューが利用できます。いずれはバーチャルゲームなどの要素もトレーニングに取り入れたい」と、構想を話してくれました。確かに機器のおしゃれでカラフルな色合いなどもかっこよく、介護保険で行うリハビリ施設とは思えない環境となっています。

2F 企業主導型保育所「OURS baby(あわーず ベビー)」



『OURS baby』は、太陽会と鉄蕉会が共同で設置する、主に職員のお子さんを対象とした認可外保育園です。姉妹関係にある認定こども園OURSの教育・保育課程に準じた、つながりのある教育・保育を展開している点が最大の特長です。

企業主導型保育所とは

深刻な待機児童問題の対策のひとつとして2016年度から認められた新しい制度で、いわば「会社がつくる保育園」です。カテゴリで言うと、「認可

外保育施設”に位置づけられますが、企業のニーズに応じた保育所の柔軟な設置・運営を助成する制度として、国から保育所の運営費・整備費の助成金が出ます。ポイントは下記の4つ。

1. 自治体を通さなくても補助金が出る

本来であれば、基準を満たしていれば自治体は認可を拒むことはできませんが、将来の少子化、保育所余りを懸念したり、周辺住民の反対運動等で認可保育所の建設が難航していたりと、なかなか開園ができないケースがありました。その点企業主導型保育所はそういった自治体とのやり取りを省略でき、かつ認可保育所なみの助成金が国から出るということで、待機児童対策の切り札として登場しました。

2. 子どもを預ける保護者の多様な働き方に対応できる

企業によって、従業員の働き方は様々で、地域の認可保育所ではカバーしきれない部分が多くあります。しかし企業主導型保育所であれば、遅い時間までの延長保育や夜間保育、休日保育など、柔軟に対応できるのが特徴的です。また、病児保育や一時預かりを行う場合は、施設の整備費が加算されます。

3. 複数の企業の共同設置や地域の子どもを受け入れもOK

『OURS baby』のように、地域の複数の企業が共同で保育所を作ることができます。しかも任意で他の企業や地域のお子さんを受け入れることもOK。地域の実情に応じて、かなり柔軟な運営ができます。

4. 利用者と施設の直接契約

『OURS』の申し込み先は自治体になりますが、『OURS baby』は、施

設の設置者と直接契約をします。つまり就労要件などを満たせば、自治体の認定なしで、認可保育所並の保育料で利用することができます。

『OURS baby』の 目指すもの

清宮悦子園長は、「一番人の手を必要とする時期の幼い子どもたちは、見るもの、聞くもの、出会うものすべてが“初めて”のことばかりです。そんな子どもたちの“初めて”を、愛情あふれる温かい手で大切に育み、遊びと生活の中で、子どもの安心と自己肯定感を育てていきたい。また、働きながら子育てをする保護者の良きパートナーとして、子どもたちの健やかな成長を共に支えていきます」と話してくれました。



子どもたちの無限の可能性を育むとする園の理念やビジョンは『OURS』と同様、「Challenge」「Global」「Love」の3つのコンセプトのもとに、お子さまの無限の可能性を育てます。

また保育ビジョンも、遊びの体験から心を育てる以下の6つのedutainment(学習)を掲げています。

遊びの基地：冒険心

体育プレイング：挑戦心

立腰教育：自立心

サイエンス：イマジネーション

表現遊び：自尊心

音楽遊び：協調心

建物の外観も『OURS』と同様オーストリアの芸術家フンデルトヴァッサー風に作られていますが、床暖房な



どの装備や、室内やトイレの色合いや機能なども、子どもたちが将来違和感なく『OURS』の施設に溶け込めるよう配慮されています。また、さまざまなイベントも『OURS』と連携し、体験や経験をなるべく共有できるように最大限配慮されています。少し違うところといえば、1階の庭に下りると『サン デイケア』でトレーニングに励むご利用者と交流を図れるところでしょうか。

防災訓練も『OURS』同様毎月実施されていますが、1月17日(木)には、初となる「Sun OURS」合同の避難訓練も行われました。



『OURS baby』の概要

・施設受け入れ可能数 合計114名
0歳児：42名 1歳児：48名
2歳児：24名

・2019年1月1日現在の利用数
合計66名
0歳児：33名 1歳児：28名
2歳児：5名

・スタッフ総数(2019年1月1日付け)
合計32名
事務職員：2名 看護師：3名
給食課：4名 保育教諭：18名
保育補助：5名

OURS babyもOURS同様、看護師3名が園児たちの健康をしっかりサポートしています。インフルエンザをはじめ、ノロウイルス、りんご病などの警戒時期ということもあり、自宅からお持ちいただいたお薬の投与や感染管理、園児の健康意識を高める指導などを行っています。看護師さんの存在は園児や保護者の皆さまにとってもうれしいことですが、やはり保育教諭などスタッフにとって大きな「安心」につながっているそうです。



(保健室にて、検食中の園長と)

さらに進化した点

☆汚物室の設置

抵抗力が低い乳児の感染拡大を防ぐために、汚物室を設置しました。感染性が疑われる症状(嘔吐や下痢な



きます。

☆配膳室に小型リフトを設置



厨房が1階にあるため、2階の配膳室との連絡に小荷物専用昇降機(リフト)が設置されています。インターフォン通話も行えるので、アレルギー食の確認などのやり取りがスムーズにできます。

☆園庭



1階サンデイケアの園庭先と、太陽会本部がオフィスを構える3階テラスに、L字型のOURS baby専用の園庭があります。建物の特性上セキュリティが保持され、かつ解放感にあふれたオープンエアに人工芝が敷き詰められているため、夏のプール遊びなど、今からみんな楽しみにしています!

「日本一子育てしやすい町鴨川」



ど)のあるお子さんの処置をしたり、汚物を衛生的に管理で

に向け、町づくりの中核となるべく『OURS』同様、『OURS baby』にも子どもたちの歓声が響いていました。

おわりに

『OURS baby』は365日、朝7時から夜8時まで延長料金なしで、大切なお子さまの受け入れをしています。また『Sun Daycare』は、少しでも元気になりたい、家族のためにも元気でいたいという方のために、“リハビリの空白を埋める 新しい選択肢”を掲げて利用者を受け入れています。

太陽のSunと、OURSをくっつけて名付けられた複合施設『Sun OURS』は、いったん職場の前線に立ったら一切の心配事なく全力で仕事に向き合ってもらうための、子育て世代、働き世代をサポートするための機能を備えた施設だということがわかります。取材を通して、未来につなげる“町づくり”に必要なことは一体何なのだろうと考えることができました。

もう少しで平成の時代が終わります。2019年はどんな年になるのでしょうか。こんな時代だからこそ、周囲に灯台のような希望の光を投げ続ける存在は貴重だと思います。



私たちは「菜の花会」として、希少疾患である腹膜偽粘液腫の第1回勉強会を2013年12月に開き活動してきましたが、希少がんネットワークも広がり情報を以前より得ることも容易になったため、今年度の3月で会の活動を停止することになりました。今までご支援いただき誠にありがとうございました。

今回のボランティア活動報告は、患者会員の体験記とさせていただきます。



1月にステージⅣの胃がんが11月には、緩解しているま まになつた

長谷川

1 ステージⅣの胃がんがと診断され落ち込む
一昨年暮れあたりからジョギング後に疲れがたまるといった。朝起きるとお腹に違和感があったので1月初旬に検査を受け、胃がん・数センチ、リンパ節への転移、

肝臓転移が確認され、ステージⅣの胃がんと診断された。手術はできず抗がん剤による延命治療で、余命は平均14か月と言われる大きく落ち込んだ。

2 食生活・睡眠等を見直し、化学療法でがん細胞が消え、手術できるまでに改善した

食事を見直す、睡眠時間を増やす、運動量を半分減らす等を実施し、抗がん剤治療2クール後の3月の検査で、胃がん・リンパ節転移・肝臓転移が半分程度に小さくなった。6月の検査で、リンパ節転移・肝臓転移は判らなくなった。7月の別の病院の診察で、①胃は3分の2の切除手術ができる、②肝臓の転移は2個残っているが手術ができると言われた。8月には肝臓への転移も全て消えたと診断され、担当医から手術によるリスクの説明があり、あえて手術をする必要性はない意見と手術する意見と二つに分かれたので患者の意見を聞きますとされた。

3 がん細胞が全て消えたが手術せず、抗がん剤治療継続で様子を見ることにした

良くなったから手術すると決めていたが、もしも場合はA病院で手術しますと言っていたので、手術せず抗がん剤投与で経過観察していくこととした。3か月経過後の11月9日CT検査、19日の血液検査

は、改善していることが確認でき、緩解しています」と担当医に言われ、安心した。



出会い

山崎

膀胱がんの手術1年後に永続性浮腫が突然出ました。あつと言つ間に左右差が15cmにもなりました。いろいろ探してみました。が、対応してくれる病院が見つかりません。そんな時、Sクリニックで亀田総合病院の理学療法士さんと出会いました。「うちの緩和ケアでリンパマッサージしてますよ」と教えてくださり、早速受診しました。すぐに対処してくださり、マッサージ、ストッキング等指導してもらい、また手術ができる事も知りました。

15cmあった左右差も今では5cm程になり、本當にうれしいです。もし、この出会いがなければ、今頃、ゾウの足になっていたかも…。良い出会いは良い治療、良い結果につながると実感しています。出会いに感謝しています。



CLOSE UP NEWS

クローズアップニュース

院内成人式

1月16日(水)午後1時より、Kタワー13階ホライゾンホールで院内成人式が行われ、1998年4月2日から1999年4月1日生まれの対象者22名のうち、19名が出席しました。

式には亀田隆明理事長はじめ、ジョン・C・ウォーカー顧問、丸山祝子看護部長や多島一嘉人事部長が出席し、新成人の門出を祝し、「これからは、自分で考えて自分で行動していけるようになってほしい」「人生100年と言われている中で皆さんは、あと80年ある。命さえあれば何でもできる。自分を大切に、他人を大切に豊かな人生になるよう頑張っていて



ほしい」といったお祝いの言葉を贈りました。

また出席者からは、「院内で成人のお祝いをしていただき、うれしく思う」「責任感を更に持って、両親に感謝して過ごしていきたい」といった声が聞かれました。

JCI更新審査をクリア



国際的な医療機能評価機構として、医療の質と患者の安全の取り組みを評価し、認証するJCI (Joint Commission International)。当院は日本で初めて2009年にJCIの認証を取得し、このたび3度目の更新審査を行うため、11月26日(月)から12月1日(土)までの5日間にわたり、国際的な審査チームより医師や看護師といった職種の審査員が4名来日しました。

審査員は亀田総合病院や亀田クリニックのほか、2015年7月にJCIの認証を取得した亀田京橋ク

リニックの初めての更新審査や、今回初めての審査となる亀田リハビリテーション病院を、感染管理・医療安全などといった観点から厳しくチェックしました。当院品質管理部を中心に、現場担当者が万全の準備を進めていたこともあり、無事認証を継続・取得することができました。

シルバペレス部長は、「ほっとしましたが、3年に一度の大イベントを終えたと安心しないで、常に医療の質の向上を目指していきたいです」と笑顔で話していました。



亀田森の里病院でリニューアル記念イベントを開催

2017年2月より改修工事を行っていた亀田森の里病院で、外来棟のリニューアルが終了したため、2018年12月16日(日)、お披露目も兼ねた記念イベント『健康フェア』が開催されました。

当日は、医療法人鉄蕉会リハビリテーション事業管理部の村永信吾部長をはじめとしたリハビリチームによる歩行年齢測定会「てんとう虫テスト」が行われ、「足の測定と相談」や骨量、血管年齢、口腔細菌など健康に関する無料の健康チェックや相談が行われました。その他ミニレクチャーなど盛りだくさんのメニューで、地域の皆さま方や患者さま約100人にご来場いただき大変盛り上がりしました。

また、外来棟2階ではじまったデイケアセンターを体験していただくコーナーでは、通所リハビリ室に導入された話題の「認知症予防マシン」ほか各種トレーニングマシンで運動機能の測定も行われ、皆さん積極的にチャレンジしていました。

同時に、かつてリハビリテーションを行っていたドームは、神奈川県内初となる病院敷地内院外薬局が新規開業し、お薬相談やお食事相談、お子さま限定のお仕事体験等のイベントでにぎわいました。



県道603号

敷地配置図



防災避難訓練を実施

2018年12月15日(土)午後2時より、亀田総合病院Kタワー6階スタッフラウンジを模擬出火場所に想定した秋季防災避難訓練が行われました。

当院では、万一の災害に備え、年2回、消防法に定められている火災を想定した防災避難訓練を実施しています。訓練は模擬出火場所や訓練実施時間をあらかじめ公表しない形式で行われ、火災の発見から連絡、通報、初期消火、避難、誘導など火災発生時の対応について一連の流れを確認しました。

また、避難訓練終了後には、A棟1階ピロティにて消火器と消火栓を用いた初

期消火訓練も行われました。参加した職員たちは消火器・消火栓の使い方に戸惑いながら積極的に訓練に取り組み、万一の事態に備えた秋の防災避難訓練は、141人の職員が参加し滞りなく終了しました。



盲導犬受け入れセミナーを開催

2002年に施行された身体障害者補助犬法では、盲導犬・介助犬・聴導犬といった補助犬の同伴の受け入れをあらゆる施設で義務づけています。当院でも以前より補助犬の受け入れを行っていますが、医療機関の中には感染管理などの問題から補助犬の受け入れをためらう施設もあるといます。

そこで、2018年12月11日(火)『医療者向け視覚障害サポート・盲導犬受け入れセミナー』を行いました。亀田グループの医療・介護従事者ほか、院内サービス施設のスタッフ60人が受講し、視覚障害サポートのあり方や補助犬への理解を深めました。

セミナーの前半では、公益財団法人「日本盲導犬協会」普及推進部 リーダーの安保美佳様、同神奈川訓練センター センター長の山口義之様より盲導犬に関する基礎知識から衛生面や排泄の問題まで実

演を交えて幅広く教えていただきました。後半では、盲導犬ユーザーで視覚障害を持つ碓谷純子様より病

院にかかった際に「困ったな」と感じた事などを具体的な事例を挙げてお話しいただきました。

セミナーを終え、受講者からは「これからは盲導犬を連れてきた方にきちんと対応できると思う」「視覚障がいを持つ方への声掛けのコツが分かった。次は自信を持って声掛けをしたい」などの感想が聞かれました。



盲導犬のハーネスを外し、特別な許可をいただき犬に触れています。仕事中の盲導犬には触らないようにしてください。



働きながら通える大学院を今春開学 亀田医療大学大学院看護学研究科

学校法人鉄蕉館

亀田グループの学校法人鉄蕉館(亀田省吾理事長)は、昨年11月6日付けで文部科学省より大学院設置が認可されたことを受け、2019年4月、亀田医療大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)を開学いたします。

同法人では、2012年に「亀田医療大学」(橋本裕二学長)を開学し、あらゆるヘルスケアニーズに応える専門職業人としての技能や知識と、豊かな人間性をあわせ持つ「看護のプロフェッショナル」の育成に取り組んできました。この3月末をもって319人の看護師を世に輩出する同大では、キャリアアップを目指す看護師を支援しようと数年前から大学院の開設準備を進めてきました。

新たに設ける亀田医療大学大学院看護学研究科看護学専攻(修士課程)は1学年定員10名で、看護管理学、実践看護学、ウィメンズヘルス・助産学の3領域で構成。各領域では看護学の発展及び看護・医療の質の向上を念頭に置いた教育・研究能力を有する看護実践者の育成を目指します。

看護管理学領域では、日本看護協会が実施する認定看護管理者審査申請と筆記試験の受験資格を取得することが可能です。実践看護学領域では、成人看護、精神保健看護、小児看護、在宅看護の分野を設置します。ウィメンズヘルス・助産学領域では、2年間のフルタイム就学で助産師国家試験受験資格を取得することができます。

また、当大学院は看護専門職が生涯を通して学び



続けられる拠点になることを目指すため、臨地現場に就労し、活躍中の社会人が働きながら学べるよう昼夜開講制や長期履修制度を導入しています。長期履修制度を利用する学生(社会人学生)は、4年以内の修業年限を申し出て認められた場合、授業料等は所定の2年分を修業期間で分納することが可能となります。さらに、厚生労働省の教育訓練講座制度*(一般教育訓練)の対象講座としても認定を申請中です。

なお、キャンパスは、既設看護学部のある横渚キャンパスと同法人が保有する亀田医療技術専門学校の一部を東町キャンパスとして活用します。

学校法人鉄蕉館では、今後とも亀田グループが有する施設や人的資源を最大限活用し、基礎教育からキャリアアップ教育まで幅広く、質の高い看護教育を通じて学生一人一人が自らの目標を達成できるよう、支援を行います。

*一定の条件を満たす対象者が、課程を修了した場合、本人が教育訓練施設に支払った経費の一部(上限あり)を公共職業安定所より支給される給付金制度です。



スーパーフード

今号は…

美容と健康に敏感な海外セレブの間で2000年頃人気に火がつき、日本でも話題の「スーパーフード」。最近では、スーパーやコンビニでも、アサイーやチアシードなどスーパーフードを使った商品がよく見かけるようになりました。ところで、このスーパーフードとは一体どんな食品なのでしょう？

回答者

栄養管理室
高橋しほり 管理栄養士



Q.そもそも「スーパーフード」ってなに？

A. スーパーフードの始まりは、1980年代頃のアメリカやカナダで、食事療法を研究する医師や専門家の間で、「**一般の食品より必須栄養素や健康成分を多く含む、主に植物由来の食品を指して「スーパーフード」という言葉が使われはじめました。**」

日本スーパーフード協会では、以下のように「スーパーフード」を定義づけています。

① 栄養バランスに優れ、一般的な食品より栄養価が高い食品であること。あるいは、ある一部の栄養・健康成分が突出して多く含まれる食品であること

② 一般的な食品とサプリメントの中間にくるような存在で、料理の食材としての用途と健康食品としての用途をあわせもつ

Q. スーパーフードと言われる食品には、どんなものがあるの？

A. 日本スーパーフード協会が特に推奨している食品に、スピルリナ・マカ・クコの実(ゴジベリー)・カカオ・チアシード・ココナッツ・アサイー・カムカム・ブロッコリースーパーフラウト・麻の実(ヘンプ)などがあります。例えば「アサイー」は、鉄分、食物繊維、カルシウム、ビタミンEを多く含み、特に酸化作用のあるアントシアニンが豊富です。また、薬膳食材としても知られる「クコの実」には、ビタミン、ミネラル、たんぱく質の他、美肌にも良いβ-カロテンが豊富に含まれています。その他に、納豆・玄米・みそ・ひじき・昆布・梅干し・緑茶など、日本人が昔から口にしてきた食品の中にもスーパーフードはたくさんあります。

Q. スーパーフードだけ食べていけば健康になれるの？

A. それぞれの食品に含まれる栄養素は異なり、いくらスーパーフードといえど、それを食べただけで急に健康になれるというわけではありません。スーパーフードには、ビタミン・ミネラル・必須アミノ酸・必須脂肪酸・食物繊維など、体に必要な栄養素が豊富に含まれていますが、これらは主に体の調子を整える役割をするものです。それに対し、生命維持や新陳代謝の主材料として最も重要な役割をする「**三大栄養素(炭水化物・たんぱく質・脂質)**」を適正量補うことは、スーパーフードのみでは困難です。

1日3食の栄養バランスを整えた上で、どうしても不足しがちな栄養を補うための補助的な食品として取り入れるとよいでしょう。

亀田 本舗

『シリーズ日米医学交流◆2002 アメリカ・カナダ 医歯薬・看護留学へのパスポート』

財団法人 日米医学医療交流財団：編
はる書房／2,052円〔税込〕



外国に医師、薬剤師、歯科医師、看護師として留学してみたい、そんな夢を持つ医療関係者は多いのではないかと。若い方が、海外に留学する、そんな時に参考になる本があればいいと思います。この本を推薦させて頂きます。2002年の発行で、すこし古い情報です。

著書の中で、亀田総合病院神経内科部長 西野洋先生（2002年当時）のすぐれた内科総合医を育てるために、アメリカのメイヨークリニック（アメリカのトップクラスのクリニック）での体験談や、内科総合医養成の初期・後期研修医の教育についての紹介があります。

看護師としては、アメリカの City of Hope National Medical Center の Pediatric Nurse Practitioner（小児専門 NRP、以下 PNP）として、医師とパートナーを組み、医師の監視下で患者さまの治療方針の決定、診察、看護師への指示、抗がん剤のオーダーなど PNP が行う業務について紹介があります。著書の中では、他に短期研修留学の医師の経験談なども記載されています。

また、外国での専門医になられ、帰国後、日本でのように、留学での知識を広めるか、日本の制度や規制などでご苦労された先生方の奮闘記も記載されています。

日本医学医療交流財団 (JANAMEF) の助成、米国・カナダ他 研修助成も記載されています。JANAMEF について（2018年現在）<http://janamef.jp/>

日米医学医療交流財団は、医療・看護その他医療従事者のための国際交流を支援しています。現在までに600名を超える方々の留学助成を行い、アメリカ合衆国をはじめとする北米を中心に、欧州、アジア圏においても留学助成を行っています。

私は、国立のオーストラリアにある大学の看護学部編入、オーストラリア看護学士と看護師免許を、2007年に取得しました。英語も大変でしたが、実習では、10時15時に Tea Time で紅茶を飲みゆったり。心臓外科の病院実習では、看護師が胸腔ドレーンを抜く。病児のリハビリの為、プールと一緒に泳ぐ、精神科では郊外 BBQ、日本では体験の出来ない実習を体験しました。外国での生活や病院での体験は、最高に楽しかったです。

これから留学を考えている方々へ、外国で働くには、複雑なビザの申請があります。移民として、永住権が認められる場合もあれば、永住権が取得できないケースもあります。

また、医療者の免許も、取得後各州の卒業講習を毎年受講しなければ、免許が更新されない場合もあります。また、留学には、多額の費用もかかります。大学に附属の語学学校などもあります。高額です。日本を出る前に無料の教会の英会話や、学内の無料英会話をお勧めします。夢を抱き、世界にいてみる。楽しく苦しい世界ですが、一度体験してみたいかがでしようか？

（大屋）

世界のぞき窓

第20回 笑ってタえて！

かすていら
文明堂

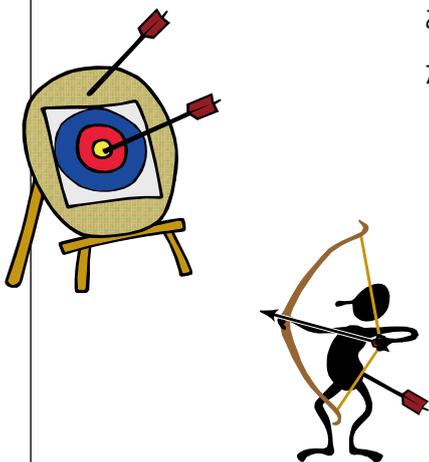
「笑ってコラえてー」という番組が好きだ。司会の所ジョージさんの軽快なトークや、各地をいろいろなテーマで訪ねるコーナーなどが毎回楽しくて夢中になって見てしまう。でも一番好きなのは、番組スタッフがダーツによって無作為に選ばれた地域を訪れ、地元の方と触れ合う「日本列島ダーツの旅」のコーナーである。その地域で最初に出会った方を「第一村人」と呼び、その方を皮切りに地域のいいところをどんどん聞いていくコーナーだが、出演される皆様が一般の方とは思えないチャームキングな方ばかりで、見ていて家族全員が笑顔になれる番組である。

さて、我が家は日本ではじめての医療専門広報の室長である。平日はバリバリと仕事をこなし、休日は時々畑を耕している。けれども「田舎者」と馬鹿にされることに對しては人一倍に敏感である。そんな室長のことだから、「日本列島ダーツの旅」はさぞかし嫌いだと思っただが、意外にも大変好きだということである。いわく「みーんな自分のところは田舎じゃねえ、他にもっとへき地があると思ってる。ところがおもしろえ」ということである。確かにかくいうご本人も「鴨川や館山には所さんはこねえだろ」と言っていた気がする。

番組自体は楽しいのだが、困るのは安易に番組のマネをする一般人である。少し前の霧の濃い早朝の話である。私がいつものようにインングレス(※GPS機能を使った位置情報アプリゲーム)に動しんでいたところ、霧の中から突然見た事の無い中年女性が現れ「あなたはこの人？」と聞かれた。「はあ、そうですけど…」とあいまいに微笑んで答えたところ、霧の中からわらわらと人が現れた。どうやら観光バスがトイレ休憩をしていたところに遭遇してしまったようである。「あなた、ここに住んでるの？他に住んでる人はいらるの？」「仕事は？ここで何をしているの？」「遊ぶ場所は？」と次から次へとスキャンダルを起こした芸能人へ取材するマスコミばりの質問攻めである。遠くに見えるピンク色の建物を指さし「あちらが亀田総合病院でして、テレビでご覧になったことがあるかもしれません」と説明しようとしたが、「ここはどんな食べ物おいしいの？」とこちらの話にはまったく興味はない様子であった。

ここで私ははたと気づいた。今私がこの人たちにとって「第一村人」であり、今彼らは「第一村人発見！」と思って質問しているのだと…！

観光バスの皆様はさんざん質問をする



亀田総合病院報

2019. 3
No.248

2019年3月1日発行 発行責任者：亀田隆明 編集責任者：松元和子 発行：医療法人鉄蕉会
〒296 - 8602 千葉県鴨川市東町 929 編集：広報企画室

当広報誌は個人情報保護のちと本人の了承を得て作成しており、本用途以外の転用は固くお断りしております。
All articles on this PR magazine has been printed under the permission of the subscriber to protect their personal information.
All editorial content and graphics may not be copied without the permission of Kameda Medical Center, Public Relations which reserves all rights.



亀田総合病院報

亀田ホームページ <http://www.kameda.com>